

警告・注意

- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- マグネット、センサーおよびブラケットはしっかりと自転車に取付け、ゆるみがないことを定期的に点検してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

ワイヤレスセンサーについて

センサーの信号は、混信を防ぐため受信距離が最大 70 cm に設計されています（受信距離はあくまでも目安です）。

取扱いには次の点にご注意ください。

- センサーとコンピュータの間隔が離れすぎると受信できません。
- 受信距離は、気温低下、電池消費でも短くなります。
- コンピュータの底面がセンサー方向を向いていないと受信できません。
- 次のような場所や環境では干渉を受け、誤作動することがあります。
- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや自動車、鉄道車両内。
- 踏切や線路沿い、テレビの発信所、レーダー基地など。
- ワイヤレスセンサーを装着した自転車同士がハンドルすれすれまで接近した場合は。

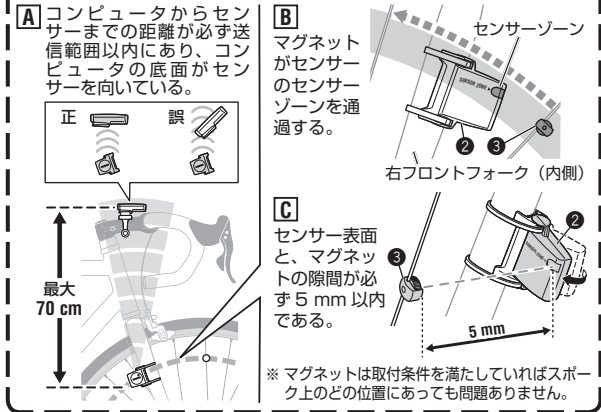
ご使用の前に必ず本書を最後までお読みください。
お読みになった後はいつでも見られるように大切に保管してください。

自転車への取付け

この説明に従って、まず自転車へ部品を取付けてください。

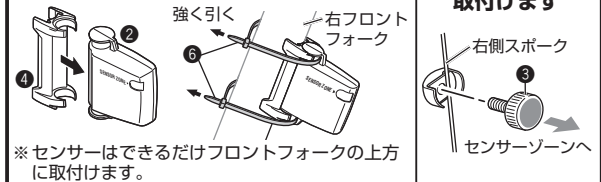


重要
センサーとマグネットは次の条件を満たす位置に調整して取付けてください。



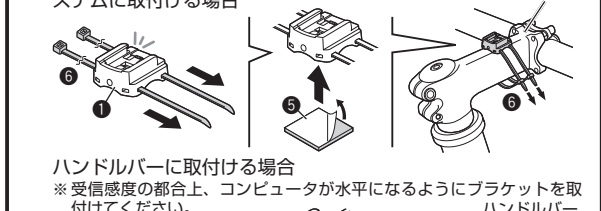
1 センサーを取付けます

強く引く。右フロントフォーク。



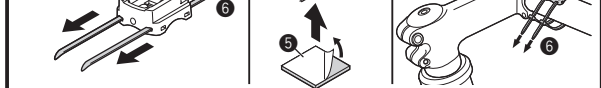
2 マグネットを取付けます

右側スポーク。センサーゾーンへ。



3 ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付けます

ステムに取付ける場合



ハンドルバーに取付ける場合

※受信感度の都合上、コンピュータが水平になるようにブラケットを取付けてください。



4 コンピュータの着脱

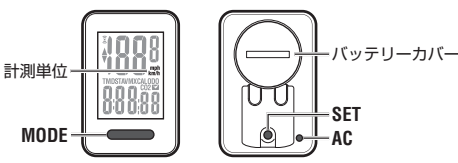
手を添えて。カチッ！ カット

前方を浮かせるように押し出す。余分なナイロンタイは、はさみでカットします。

テスト

コンピュータをブラケットに装着し、前輪を軽く回してみます。速度が表示されるとセンサーとマグネットの取付けはOKです。表示されないときは [A] と [B]、[C] の位置関係を確認してください。

コンピュータの準備



初めてご使用になるときや電池の交換をしたとき、工場出荷時に戻すときは、次の手順でオールクリア操作を行います。

1 オールクリア (初期化) します

表面の AC ボタンを押します。



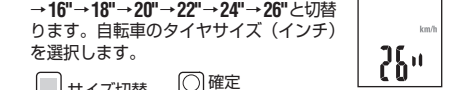
2 計測単位を選択します

「km/h」または「mph」を選択します。



3 タイヤサイズを選択します

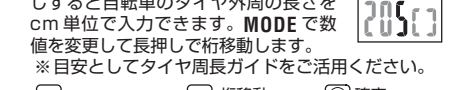
MODE を押しと 26" → 700c → 27" → 205 [] → 16" → 18" → 20" → 22" → 24" → 26" と切替ります。自転車のタイヤサイズ (インチ) を選択します。



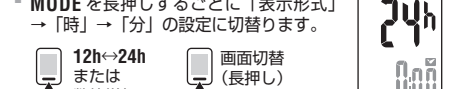
タイヤ周長として数値を入力することもできます (より正確に計測できます) 画面に 205 [] を表示して MODE を長押しすると自転車のタイヤ外周の長さを cm 単位で入力できます。MODE で数値を変更して長押しで桁移動します。※目安としてタイヤ周長ガイドをご活用ください。

4 時刻を入力します

MODE を長押しするごとに「表示形式」→「時」→「分」の設定に切替ります。



より正確なタイヤ周長 (L) を実測して求める場合、タイヤの空気圧を適正にし、タイヤ接地面にペンキ等で印をつけて乗車します。タイヤを 1 回転させ、路面に付いた印の間隔を測ります。目安として周長ガイドを活用してください。



コンピュータの操作

センサー受信アイコン
センサーの信号に同期して点滅します。



走行速度
0.0 (4.0) - 105.9 km/h
[0.0 (3.0) - 65.9 mph]

選択データ

ベースアロー
走行速度が平均より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

計測のスタート・ストップ

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。計測中は km/h または mph が点滅します。

選択データの切替

MODE を押しと図のように選択データが切替ります。

データのリセット

計測画面で MODE を長押しすると計測データが 0 に戻ります。積算距離はリセットされません。

節電機能

約 10 分間信号が入らないと時刻表示だけの節電モードになります。センサー信号が入ると計測画面に戻ります。節電モードからさらに 2 週間放置すると画面に SLEEP を表示します。SLEEP 表示では MODE を押しと計測画面に戻ります。

消費カロリーについて *2

このコンピュータで計測される消費カロリーは 1 秒毎に速度から演算した値を累積するもので、実際の消費カロリーとは異なります。

速度 (単位 km/h)	10	20	30
1 時間当たりの消費カロリー (単位 kcal)	67.3	244.5	641.6

CO2 削減量の算出方法 *3

CO2 削減量は以下の計算方法で算出します。
走行距離 (km) × 0.15 = CO2 削減量 (kg)

※係数 0.15 は、国土交通省ホームページ記載の「ガソリン車 1km 走行における CO2 排出量」の数式に 2008 年度ガソリン乗用車全体の平均値を当てはめて求めています。

時刻を合わせるには

時刻を表示して、SET を押しと時刻設定画面になります。設定方法は、「コンピュータの準備 4」と同様です。

タイヤ周長を変更するには

Odo を表示して SET を押しとタイヤ周長入力画面になります。設定方法は、「コンピュータの準備 3」と同様です。

メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

電池の交換

コンピュータ

表示が薄くなったたり、センサー信号が受信しにくくなると電池の交換時期です。新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が上面に見えるように挿入します。

※電池交換後は必ず「コンピュータの準備」の手順に従ってコンピュータを再設定してください。

センサー

正しい調整をしても速度を表示しない場合は電池の交換時期です。交換後はマグネットとの位置関係を確認してください。

トラブルシューティング

全く表示が出ない。

コンピュータの電池が消費していませんか？
新しい電池に交換してください。交換後は「コンピュータの準備」の手順に従ってください。

異常な表示が出る。

「コンピュータの準備」の手順に従いオールクリアをして、再度コンピュータを設定してください。(これまで計測したデータはすべて消去されます)

センサー受信アイコンが点滅しない。(スピード表示が出ない)

(コンピュータをセンサーに近づけて前輪を回します。センサー受信アイコンが点滅する場合は、異常ではなく、電池消費などによる受信距離の問題です)

センサーとマグネットの間隔が離れすぎていませんか？ (間隔 5 mm 以内)

マグネットはセンサーゾーンを通過していますか？
マグネット・センサーの位置を調節してください。

コンピュータの取付角度は正しいですか？
コンピュータ底面がセンサーを向くようにしてください。

コンピュータとセンサーの距離は正しいですか？ (間隔 20 ~ 70 cm 以内)

センサーの取付位置を範囲内にしてください。

コンピュータまたはセンサーの電池が消費していませんか？
特に冬期は電池の能力が低下します。
新しい電池に交換してください。交換後は「電池の交換」の手順に従ってください。

製品仕様

使用電池

コンピュータ (受信部) : リチウム電池 (CR2032) × 1
センサー (送信部) : リチウム電池 (CR2032) × 1

電池寿命

コンピュータ: 約 1 年 (1 日 1 時間使用時、使用環境により異なる)
センサー: 積算距離で約 10000 km [6250 mile]

※ 気温 20℃ でセンサー・コンピュータ間 65 cm に取付けた時の平均値。
制御方式 4 bit 1- chip マイクロコンピュータ (水晶発振器)
表示方式 液晶表示
検知方式 無接触磁気センサー
送受信距離 20 ~ 70 cm の範囲
選択可能タイヤサイズ

..... 26"、700c、27"、16"、18"、20"、22"、24" またはタイヤ周長 100 ~ 299 cm (初期値 26 インチ)
使用温度範囲 ... 0℃ ~ 40℃ (動作保証範囲: 範囲外は表示の視認性が悪化します)

寸法・重量

コンピュータ: 55.5 x 37.5 x 18.5 mm / 28 g
センサー : 41.5 x 35 x 15 mm / 15 g

※ あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。
※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

製品保証について

2 年保証: コンピュータ / センサーのみ

(付属品及び電池の消耗は除く)

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前に E メール・お電話などで弊社製品サービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

【宛先】 株式会社キャットアイ 製品サービス
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号
TEL: (06)6719-6863 ダイヤルイン FAX: (06)6719-2362
ホームページ http://www.cateye.co.jp
E メール support@cateye.co.jp

※ アクセサリーパーツを別途販売していますのでご利用ください。

標準部品

#160-2990 パーツキット

#166-5150 リチウム電池 (CR2032)

#160-2196 センサー

#169-9691 ホイールマグネット

#160-2980 ブラケット

標準部品

パーツキット

リチウム電池 (CR2032)

センサー

ホイールマグネット

ブラケット